

中国琵琶 ティンティン Ting Ting

西安出身、両親共に音楽家であり、3人姉妹の末娘として音楽の英才教育を受ける。6歳から琵琶を始める。国立西安芸術学校中国琵琶専攻を首席で卒業。1997年留学生として来日。2001年第10回在日留学生音楽コンクールでの優勝をきっかけに全国デビュー。

アメリカのシアトルで行われた「国際児童祭」や日中国交正常化30周年記念ディナーショー（共演：アグネス・チャン）に出演。「東大寺大仏開眼1250年慶讃コンサート／東儀秀樹・大伽藍コンサート」にゲスト出演。2004年、韓国 Seoul Performing Arts Festivalにて2日間コンサートを開催。2005年、加藤登紀子さんと日本縦断の旅に出掛け、新曲「この星を庭として」を愛・地球博会場で発表（テレビ朝日系番組「森と水の旅」で全国放送）。同年5月ジュディ・オングさんのコンサート（東京・名古屋）にゲスト出演。

2007年3月「言語文化博士号」取得。同年4月、中部大学国際関係学部に就任、現在中部大学・国際文化学科・講師として教鞭を執りながら日中古楽器の研究や演奏活動に取り組んでいる。

2007年、2010年ブルーノートに二度も出演、2008年TBS『世界ウルルン滞在記』、BS朝日『中国神秘紀行』にてテーマソングを演奏していた。

2016年2月～3月アメリカオハイオ大学芸術学部の交換客員教授として派遣し、多くのコンサートと授業を通してアジアの音楽と文化をアメリカの学生に伝授していた。

オフィシャルホームページ <http://www.tingting-yi.com>



中国琵琶奏者ティンティン来日20周年記念コンサート
第2回 9月10日(月) 第3回 12月10日(月)



ギター 望月 雄史 Takeshi Mochizuki

名古屋出身。クラシック・ギターを望月英男に師事。

広い知識と柔軟な音楽性を武器に、ジャズ、ポップス、シャンソン、ボサノバ、ラテン、民族音楽からクラシックまで、ジャンルに囚われない伴奏者として精力的に活躍。共演者、音楽制作者の絶大なる信頼を得て各方面で高く評価されている。関東～東海～関西を中心に、ライブ、コンサート活動の他、演劇や朗読の音楽を数多く担当。CMやその他音源制作にも多数関わるなど、精力的に活動中。

そして、名古屋音楽学校講師も務め、後進への音楽の理解とジャンルを超えた演奏技術、そして音楽性の向上を目指すべく指導活動も行っている。

2003年5月、坂野嘉彦作曲の独奏ギターのための現代音楽作品を集めたCD「舞踏詩」を発表。2006年3月、ユニット「Noche & Monte」で、「第25回浅草JAZZコンテスト」バンド部門で金賞を受賞。2006年8月、「Noche & Monte」で、「赤煉瓦サマー・ジャズ in 舞鶴2006」で、優秀賞を受賞。



打楽器 ルベン・フィゲロア

ペルー出身。医師であり、作曲家で有名である父の影響を多大に受け、兄弟共に幼い頃から音楽に慣れ親しむ。高校卒業後、東洋医学の勉強のため日本に留学し、免許を取得する。パーカッションニストであり、鍼灸師、スペイン語講師でもある。1978年ペルーにて音楽活動を開始、ジャンルにこだわらず様々なグループでパーカッション奏者として参加。

日本国内では、1997年12月NHK「ときめき夢サウンド」に出演。'98年Club Quatro、Jazz in Lovely等にて「Keiko Lee」ライブに参加する他、ケーナ奏者の世界第一人者「ホルヘ・クンボ」ライブ「民族音楽アンデスの風と響き」などで演奏している。

CDレコーディングとして、ロス・トレス・アミーゴ「アンデス」、まのあけみ「遊びをせんとや」ブルース「吟いろの恋」、プリスカ・モロツィー「アフロ・ブルー」等に参加。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00～16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)